

職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み 職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の観点から（案）：国立教育政策研究所生徒指導研究センターを基に作成 h19作成

			小 学 校			中 学 校	高 等 学 校
			低 学 年	中 学 年	高 学 年		
職業的（進路）発達の段階			進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
職業的（進路）発達課題（小～高等学校段階） 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 			<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての勤労観・職業観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行の参加
職業的（進路）発達にかかわる諸能力			職業的（進路）発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度				
領域	領域説明	能力説明					
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【 自他の理解能力 】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力	「 よさに気付く 」 自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う。	「 よさを見付ける 」 自分や友達の良いところを見付ける。	「 よさを認め合う 」 自分や友達のよさを認め、互いの意見を理解しようとする。	「 個性を知る 」 自他の考え方や、とらえ方の違いを理解する。 自分のよさも、他者のよさも分かる。	「 個性を受容し伸長する 」 自己の能力・適性を受け入れ、それを伸ばそうとする。 他者の価値観や個性を理解し、それを受け入れる。
		【 コミュニケーション能力 】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	「 友達と向き合う 」 自分の考えをみんなの前で話す。 あいさつや返事をする。	「 友達と協力する 」 友達の気持ちや考えを理解しようとする。	「 相手の立場に立つ 」 異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。	「 お互いを支え合う 」 他者の気持ちに配慮しながら、積極的に人間関係を築く努力をする。	「 他者と協調する 」 考え方の異なる人とも互いに意見を調整しながら協力し合う。 社会生活のマナーを踏まえて行動する。
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【 情報収集・探索能力 】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	「 情報に気付く 」 身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。	「 情報を収集する 」 いろいろな職業や生き方があることが分かる。	「 情報をまとめる 」 身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。	「 情報を整理し活用する 」 様々な職業や上級学校についての情報を収集・整理し活用する。	「 情報を進路選択に生かす 」 卒業後の進路や職業について、多面的・多角的に情報を集め検討する。
		【 職業理解能力 】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことを理解していく能力	「 活動を楽しむ 」 係や当番活動に楽しく取り組む。	「 活動を楽しむ 」 積極的に活動に取り組み、働く充実感を味わう。	「 体験から学ぶ 」 施設・職場見学等を通して、働くことの大切さや苦労が分かる。	「 体験を生かす 」 係活動や職場体験などを通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 体験から得たことを、学校生活に生かす。	「 体験を生かす 」 体験やメディアを通して勤労や職業に対する多様な考えについて理解し、認識を深める。 体験を通して、社会のルールやマナー等の意義を理解し、実践する。
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【 役割把握・認識能力 】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	「 役割を知る 」 学級・家庭において割り当てられた仕事や役割の必要性が分かる。	「 役割分担ができる 」 学級・家庭において互いの役割や役割分担の必要性が分かる。	「 役割の大切さが分かる 」 社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 仕事における役割の関連性や変化に気付く。	「 役割を理解する 」 学校・家庭・地域において自分の果たすべき役割とその意義を理解する。	「 役割を果たす 」 学校・社会において自分の果たすべき役割を意識し、積極的にその役割を果たす。
		【 計画実行能力 】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	「 将来の夢や希望をもつ 」 憧れとする職業などをもつ。 決められた時間やきまりを守ろうとする。	「 将来の夢や希望をもつ 」 憧れとする職業などをもつ。 計画づくりの必要性に気付く。	「 将来のことを考える 」 憧れとする職業をもち、今しなければならぬことを考える。	「 将来の目標に向けて計画し実行する 」 将来の夢や希望する職業をもとに、その時点での目標と計画を立て、達成に向けて努力する。	「 自己の将来を詰める 」 自己の生き方・在り方について考えを深め、それに応じた進路計画を立て、その実現に取り組む。
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【 選択能力 】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	「 好きなものを見付ける 」 自分の好きなもの、大切なものをもつ。	「 やりたいことを選択する 」 自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。	「 見通しをもって選択する 」 係活動などで自分のやりたい仕事、やれそうな仕事を選ぶ。	「 よりよく選択する 」 選択肢を比較検討しながら、主体的に判断し、よりよい選択・決定を行う。	「 自己の意志と責任で選択する 」 多様な選択肢の中から、自己の意志と責任で主体的に選択する。
		【 課題解決能力 】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適應するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	「 問題に気付く 」 身近な問題に気付く。 自分のことは自分で行おうとする。	「 課題を見付ける 」 自分の力で課題を解決しようとする。	「 課題を見付け解決しようとする 」 将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。	「 課題を見付け主体的に解決する 」 生活や学習等の充実を目指し、自ら課題を見付け、主体的に解決していこうとする。	「 課題や葛藤に立ち向かい克服する 」 進路希望の実現に向けた課題を設定し、その解決に取り組む。